

令和6年度 一般選抜 正解・解答例等（出題の意図を含む）

【小論文】

ADHD など発達障害がある方々を、どのように理解し社会がどう受容していくかが、多様性を認める社会の中でも重要な課題である。答えが一つに定まらない問いに対して、受験生の思考力や判断力、表現力がどう身についているかを判断したい意図がある。

問1

本文中で紹介されている障害に対する筆者の考え方を参考にしながら、日本文化に残る女性蔑視に対する現状を、受験生がどのように認識しているのか、自らの考えについて文章を用いて適切に表現できるかをみる問題である。本文の読解力及び記述された文章の表現力を評価指標とした。

問2

日本では発達障害や ADHD に対する理解が不足しており、社会的スティグマや偏見が存在している。個人の意見や行動は、集団との調和を乱す可能性があるため、同調のプレッシャーが生じやすく、異なる意見や行動が避けられている現状を捉えている点を、本文中の文章を用いて適切に表現できるかをみる問題である。本文の読解力及び記述された文章の表現力を評価指標とした。

問3

本文中で説明されているカルティベーションの考えについて、ADHD の方々が置かれている現状や問題点を理解・整理し、かつ課題解決に向けた自らの考えを説得的に相手に伝える論述ができているかをみる問題である。本文の読解力及び記述された文章の表現力以外に、記述された文章の構成力も評価指標とした。